

【新潟県都市緑化センター】

佐潟公園内自然生態観察園の活用方法について

1 概要

佐潟公園内にある自然生態観察園を積極的に活用し、豊かな生態系を創出するとともに、希少動植物などが生息・生育できる環境の復元に取り組む。

2 目標

本市の代表的な里潟である佐潟の環境を踏まえ、人為的に手を加えていくことで、その後に起こりうる自然攪乱の作用を有効に利用し、希少動植物が定着できる環境を復元する。

3 方法

(1) 実験予定地

自然生態観察園内に実験予定地を2ヶ所設定（下記の図参照）

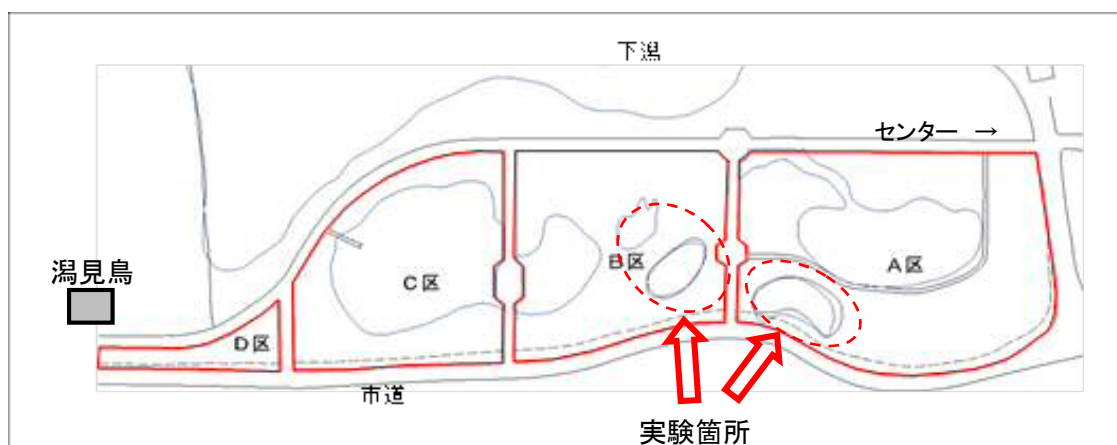


図. 自然生態観察園の実験予定地

(2) 実験方法

○自然攪乱を人工的に起こすため、8月中にヨシを刈り取り観察園外へ搬出。また、池のほとりなど傾斜の急なところや池の水深が深い場合は、浚渫土壌等を利用して緩やかにするなど施行し、エコトーンを創出



図. 潟のエコトーンイメージ（出典：新潟市潟環境研究所活動報告書）

○目標に向けた管理をすすめながら、進捗状況や作業状況に関しては協議会で随時報告する。

（3）実験期間

第25回協議会了承後に作業を開始し、まずは3ヶ年程度を目途に整備を実施

4 活用方法

一連の取り組みに関して、現地に解説パネル等を設置するなどして、来訪者に周知するほか、佐潟水鳥・湿地センターが行う観察会などでも利用することを検討